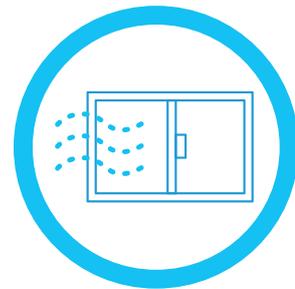
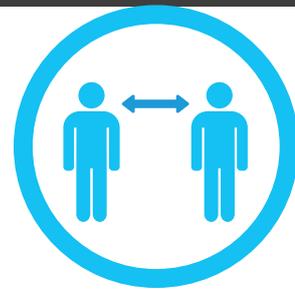
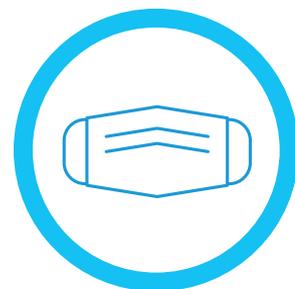


# 安全・安心な 横浜 MICE ガイドライン

感染症拡大のリスクを抑えた  
MICE 開催のための取り組み 第2版



# 目次



©Yokohama Visitors Guide

はじめに .....	2
I 基本的な感染症対策 .....	3
II MICE における感染リスク .....	4
III 会期前の対策 .....	6
IV 会期中の対策 .....	11
V 会期後の対応 .....	14
VI 様式 簡易チェックリスト (主催者向け) .....	15
VI 様式 簡易チェックリスト (参加者向け) .....	16
VI 様式 連絡先シート (参加者向け) .....	17
VII 感染が疑われる参加者が発生した場合の対応 .....	18
VIII 横浜市及び神奈川県に関連情報一覧 .....	19
IX 横浜市内MICE関連事業者の感染症対策 .....	20

## はじめに



横浜市長  
山中竹春

横浜市は、MICEを成長分野として位置付け、中大型の国際会議や医学会議等を中心に、積極的な誘致活動に取り組んでいます。新型コロナウイルスの感染拡大当初は、多くのMICEが中止、延期を余儀なくされたものの、ハイブリッド開催の定着などにより、現在は回復傾向にあります。開催形態は多様化していますが、学術振興や産業のイノベーションなどを図るうえでは、人と人が対面で交流できる現地開催の重要性は、今後も変わることはありません。

今回の改訂では、コロナ禍に開催された多くのMICEのノウハウを生かし、より具体的で、実用的な内容となっています。主催者の皆様には、参加者の皆様が安心して参加できるよう、本ガイドラインを参考に、万全な感染症対策を講じたうえで開催していただけただけなら幸いです。

横浜が「安全・安心な MICE 都市」として、定着、発展し、主催者の皆様に選び続けていただけることを心より願っております。



横浜市立大学附属病院  
感染制御部 部長・講師  
医学部 血液・免疫・感染症内科  
加藤英明 (ガイドライン監修)

前回のガイドライン策定後、新型コロナウイルスに関してはワクチン接種が進んで感染しても軽症で済むことが多くなった反面、変異株の出現によって多くの人が感染するなど感染の状況は変化しました。しかしながら、その対策としてはマスクを着用する、密集を避け換気をよくするなど基本に変わりはありません。

多くの情報が得られてきたなかで、モノの表面を介した感染（接触感染）よりも、会話により発生するエアロゾルの対策の方が重要なことも分かってきました。パンフレットの手渡しを避けたり、頻回な環境の消毒などに注力したりするよりも、会話をするときにはしっかりマスクを着用し、換気を十分に確保するよう心がけましょう。

会場の選定など主催者にできることもありますが、マスクの着用や体調管理などは参加者の意識や自己管理が大切です。主催者と来場者がともに作っていきけるような MICE にしていただければと思います。

## 新型コロナウイルスの感染経路

### 飛沫感染

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛沫が飛び、周囲の人の口や鼻から入ったり、目の粘膜などに付着したりすることから感染します。飛沫は目に見えるような大きさのものは1~2m以内に落下します。飛沫を吸いこまないように不織布マスクを着用するか、1~2m以上距離を空けることが大切です。

### エアロゾル感染

会話や歌唱、咳やくしゃみなどによって目に見えないほどの微細な粒子（エアロゾル）が発生し、数分間浮遊するもので、新型コロナウイルスの主な感染経路とされています。エアロゾルを発生させないためには、話や咳をする人がマスクを着用することが大切です。

### 接触感染

皮膚や粘膜の直接的な接触や、感染者の飛沫がついた物に触れた手で、目、鼻、口のあたりを触ることで感染します。

※新型コロナウイルスでは接触感染は比較的頻度が低いと考えられています。

## 一般的な新型コロナウイルス対策

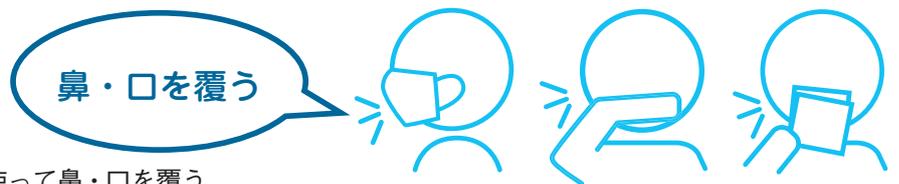
### 正しい手洗い

- ①流水でよく手を濡らした後、石鹸をつけ手のひらをよくこする
- ②手の甲を伸ばすようにこする
- ③指先・爪の間を念入りにこする
- ④指の間を洗う
- ⑤親指と手のひらをねじり洗います
- ⑥手首も洗う



### 正しい咳エチケット

- ①マスクを着用する
- ②ハンカチやティッシュで鼻・口を覆う
- ③上着の内側や、袖、肘の内側などを使って鼻・口を覆う



### 正しいマスクの着用

- ①鼻と口の両方を確実に覆う
- ②あごの下まで伸ばし隙間なくフィットさせる
- ③取り外しはひもを持つ
- ④品質の確かな不織布マスクを使用する



## ワクチン接種

新型コロナワクチンには感染や発症、重症化を防ぐ効果が認められています。ワクチン接種をすることで、行動制限の緩和が期待されます。

## II

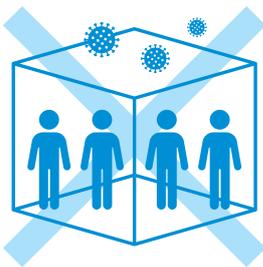
# MICE における感染リスク

MICE を開催するにあたっては、感染リスクに応じた対策の検討・実施が必要です。

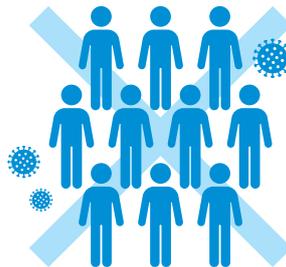
### 感染リスク 1

## 「3密」に該当する場所・場面

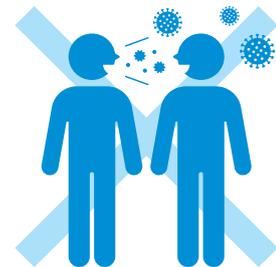
3密となる場所・場面を発生させず、2m（最低1m）程度のソーシャルディスタンスを確保する必要があります。



換気の悪い空間  
密閉空間



大勢が集まる  
密集場所



間近で会話する  
密接場面

### 感染リスク 2

## 感染の可能性が高い場所

参加者や講演者、主催者、出展者、運営スタッフなどが会話をする場合、感染リスク軽減のために、飛沫粒子によるエアロゾル感染抑制に有効なマスクの着用は重要です。また、他者と共有する物品やドアなどは、手が触れる頻度が高いところを特定し、感染症対策を実施します。

### 飛沫・エアロゾル感染のリスクがある場所

共有スペース	混雑時における参加者同士の距離など
受付・クローク	待機の行列、参加者と運営スタッフの距離など
セッション（講演）会場	入・退場時の行列、参加者の座席配置、講演者同士の距離、参加者と講演者の距離、換気の状態、机・椅子の配置など
展示会場	ブースの配置、通路幅、ブース内での参加者と出展者の距離など
パーティ・レセプション会場	マスクをはずした飲食、机・椅子の配置、アトラクションで大声を出す場面、立食形式の場合における参加者同士の距離、換気の状態など
施設全体	窓の有無、換気の状態など

### 接触感染のリスクがある場所

共有設備	机、椅子、エレベーターのボタン、エスカレーターのベルト、トイレ、手すりなど
受付・クローク	現金、クレジットカード、ネームカード、コンgresバッグ、プログラムなどの配布資料、荷物、クローク札など
セッション（講演）会場	ドア、机、椅子、マイク、同時通訳レシーバー、共有のPC、演台など
展示会場	ブース、展示物、出展者からの配布資料、名刺など
パーティ・レセプション会場	ドア、机、椅子、食器、グラス、トングなど

## II MICE における感染リスク

### 感染リスク 3 会場の収容人数

見込まれる参加者数と会場の収容人数を考慮し、ソーシャルディスタンスが確保できるかを検証します。また、入場制限については、施設全体や各使用会場の収容可能人数を判断基準とします。

### 感染リスク 4 移動・宿泊

MICE を開催すると、国内外から多くの参加者が集まるため、交通機関や宿泊施設、飲食店など、広範囲にわたって感染症対策が必要です。海外からの参加者がある場合、入国日から決められた待機期間\*が過ぎているか否かを確認してください。また、参加者には、次のような「個人でできる対策」があります。\*待機期間については、入国に関する国の方針に従います。

## 個人でできる感染症対策

### ① 交通機関では

出発時の検温／マスクの着用／手・指の消毒／会話を控える／混雑を避けた時間帯・車両の利用／キャッシュレス決済やICカードの利用／待合所や切符売り場での3密回避など



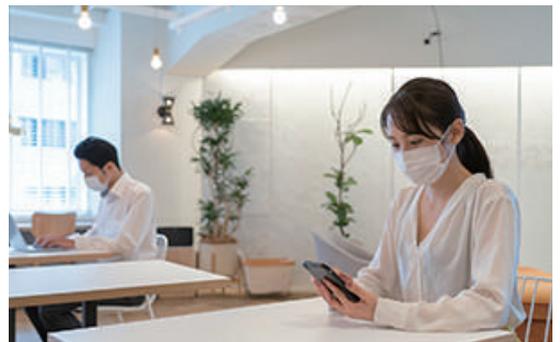
### ② 宿泊施設では

サーモグラフィーでの検温／手・指の消毒／手洗い／定期的な換気／食事会場の混雑回避など



### ③ 飲食店では

飲食時を除いたマスクの常時着用／会話を控える／大人数での会食や飲み会を避ける／手・指の消毒／手洗い／キャッシュレス決済の利用など



# Ⅲ

## 会期前の対策

参考 一般社団法人日本コンベンション協会「新型コロナウイルス感染症禍における MICE 開催のためのガイドライン 第5版」(以降:JCMA ガイドライン) Ⅲ-1「会期前・準備段階」

### 運営体制の構築

MICE 開催にあたっては、事前に感染リスクを精査したうえで、主催者として「感染拡大防止対策の方針」を決めておかなければなりません。

#### ①最新の感染状況と指針の確認

■国や神奈川県、横浜市が示す警戒レベルや指針の最新情報を確認します。

◎厚生労働省



◎横浜市



#### ②運営関係者内で役割分担・責任範囲を明確化

■主催者、運営事業者、開催施設などの役割分担・責任範囲を明確化し、各役割における責任者を設置します。

■各責任者は、感染症対策の状況について、自主チェックが可能な体制を構築します。

#### ③感染拡大防止対策の方針を決定

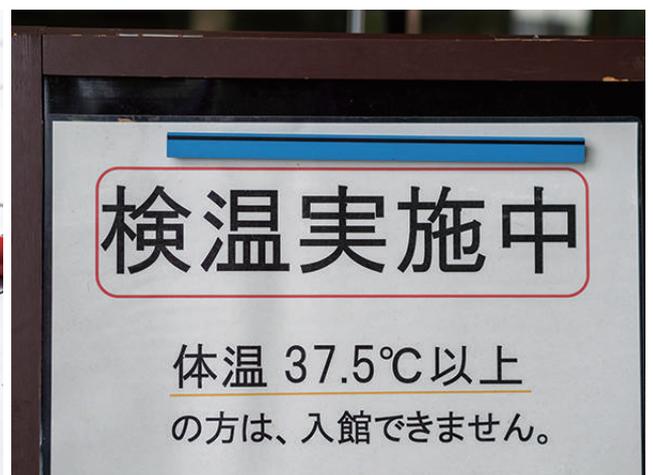
■中止や延期、規模の縮小、開催形態の変更(オンライン開催にするなど)を判断するための基準や、決定までのプロセス、期日などを決めておきます。

■参加登録が有料の場合、新型コロナウイルス感染症を理由とするキャンセルや返金対応について決めておきます。

■国外からの参加者、講演者、招待者の参加基準を決めておきます。

■感染が疑われる参加者・運営関係者が出た場合を想定し、対応を決めておきます。

■参加者に来場自粛を要請する基準などを決めておきます。

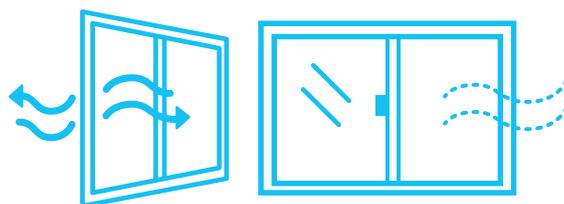


# 感染拡大防止対策と参加者対応

## ① 感染リスク軽減のための対策

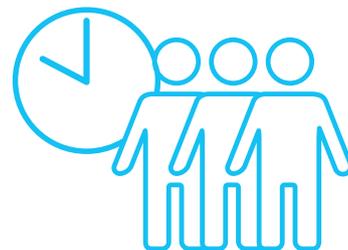
■ 会場選定と利用法を検討します。

- (例)
- ・ 見込まれる参加者数を元に、ソーシャルディスタンスが確保できる会場の選定
  - ・ 適切な換気が可能な会場や屋外スペースの活用
  - ・ ブースなどの施工デザインを簡素化することによる設営及び撤去時間の短縮



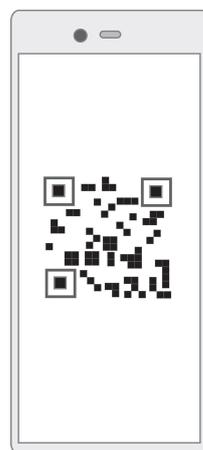
■ 参加者を分散する方法を検討します。

- (例)
- ・ 参加登録受付を前日から開始するなど、開場時の受付の混雑を回避
  - ・ 参加は事前登録を原則とし、当日、スタッフと対面しない受付のシステムを導入
  - ・ プログラムの開始・終了時刻をずらし、ロビーやトイレへの参加者集中を回避



■ 新しいテクノロジーやシステムの活用を検討します。

- (例)
- ・ ICTを活用した非接触受付やキャッシュレス決済
  - ・ プログラムへの事前予約制の導入
  - ・ オンライン／バーチャル開催等の仕組みを併用
  - ・ 配布資料の電子化



## ② 参加者対応の準備

■ 事前のオンライン参加登録を必須とするなど、感染発生時のトレースが可能な体制を構築します。あわせて、わかりやすい「オンライン登録」の案内方法も検討します。

■ 健康チェックシートや連絡先シートの提出を求める方法などを検討します。

■ 入場防止・来場自粛の基準など、必要情報を案内する方法を検討します。

### 有事対応への準備

#### ① 有事の対応を準備

- 感染が疑われるケースが発生した場合のマニュアル（電子化を推奨）を作成します。
- 運営関係者全員の氏名・連絡先をリスト化。会期後感染が確認された場合に連絡が取れるようにしておきます。
- 運営関係者・出展者を含む全参加者に健康チェックシートや連絡先シートの提出を推奨します。
- 講演者による講演が不可能になった場合のための代替案を用意します。
- 国外からの講演者、招待者などに対しては、入国制限に関する最新情報に従い、オンライン講演へ切り替えるなど、柔軟に対応します。
- 感染が疑われる人が受診可能な医療機関を把握しておきます。また、外国語対応の可否についても確認するほか、医師・看護師の常駐も検討します。

#### ② 運営関係者への事前説明

- すべての運営関係者に、感染防止対策や有事対応について説明します。
- 必要に応じて、マニュアルを配布します。

#### ☆健康チェックシートの内容例☆

- 平熱を超える発熱はありません
- 咳、のどの痛みなどはありません
- 味覚や嗅覚の異常はありません
- 過去〇〇日以内に新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触の可能性はありません
- 過去〇〇日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへ渡航していません。又はこれらの国の在住者との濃厚接触の可能性はありません

※提出いただいた情報は必要に応じて保健所などの公的機関へ提供される可能性があります。

上記に間違いありません。

日付： 年 月 日

署名：

### 情報発信

開催前には、ホームページなどで感染拡大防止対策の方針や実施する対策について情報発信します。あわせて、参加者や講演者、出展者、メディアなどに対し、具体的な依頼内容を発信します。

#### 主な情報発信内容

##### ①開催方針、来場自粛の基準

国や神奈川県、横浜市が示す警戒レベルや指針に則り開催すること、入場防止・来場自粛の基準などを示します。

- (例) ・熱 (37.5℃以上) あるいは、咳・のどの痛みなどの症状がある  
・新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者であることが判明した

##### ②参加者への協力要請

感染症対策への協力を参加者へ要請します。

- (例) ・感染拡大防止対策の方針や事前参加登録について  
・ソーシャルディスタンスの確保やマスクの正しい着用、手洗い・手指消毒、咳エチケット  
・公共交通機関については分散利用を促進  
・場内の動線や入退場口の運用ルールなど、施設の利用方法  
・(必要な場合) 会期後のアンケートへの協力  
・プライベートな飲食についても密集を回避し、認証店の利用を推奨

##### ③事前参加登録の徹底と名簿管理について

事前登録を参加者へ依頼します。事前登録により、主催者は重要連絡を一斉メールで参加者に送信することが可能となり、情報発信が確実となります。

なお事前登録で参加者情報を収集する場合は、有事において保健所等の公的機関へ参加者情報が提供される可能性があることや収集した参加者情報の保存期間などについて通知します。

## Ⅲ 会期前の対策

### 開催前手続き

MICE 開催にあたり、主催者は次の点に留意し、必要に応じた対応をします。

#### ①「感染防止安全計画」の提出

■令和4年3月22日より、参加者が5,000人超え、かつ収容率50%超えのイベントは「感染防止安全計画」※1を策定し、開催2週間前までに、神奈川県への提出が義務付けられました。(1,000人超のイベントを対象に実施していた事前相談は廃止)。

#### ②イベント開催時のチェックリストの作成

- 参加人数が5,000人以下又は収容率50%以下(大声あり、大声なし)の場合は、「感染防止対策チェックリスト」※2により、イベント開催時の感染防止対策を確認し、チェックリストを主催者ホームページや会場入口などに公表します。(県への提出は不要)
- チェックリストの提出は不要ですが、イベント終了日から1年間保管してください。なお、感染防止安全計画を策定する場合は、チェックリストを作成する必要はありません。

		施設の収容定員		
		5,000人以下	5,000人超～10,000人以下	10,000人超
大声あり※3		収容定員の半分まで可		
大声なし※4	感染防止安全計画策定(提出)なし	収容定員まで可	5,000人まで可	収容定員の半分まで可
	感染防止安全計画策定(提出)あり		収容定員まで可	

※1・※2 神奈川県が定める様式は神奈川県のホームページにて確認してください。

※3 大声の定義「観客などが、運営よりもはるかに大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」

※4 安全計画を策定しない場合は、チェックリストの公表が必要

・安全計画の策定は、「大声なし」の担保が前提

### 神奈川県イベントに係る感染防止対策について

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/callcenter.html>



# IV

## 会期中の対策

参考 JCMA ガイドライン III-2 「会期中」

### 共有スペース・受付・クローク

会期中は、決定した感染拡大防止対策の方針に基づき、適切な対策をします。

#### ①共有スペース

- プログラムの開始・終了時刻をずらし、ロビーやトイレへの参加者の集中を回避します。
- 感染拡大防止対策に関する協力、依頼事項をデジタルサイネージなどに掲示します。

#### ②受付・クローク

##### A 参加登録方法

- 非接触受付の活用や受付時間の拡大などによって、参加者の待機時間を減少させます。
- 連絡先シート（17 ページ）や健康チェックシートの提出を推奨。そのための動線を設けます。
- 大声による案内を避け、必要な場合は拡声器を利用します。

<受付での対応例>

- ・スタッフはマスクを着用
- ・受付やクローク内が密集にならないよう面積を確保
- ・配布物の電子化を推進
- ・手荷物は自己管理を推奨

##### B 検温、体調の確認

- サーモグラフィーなどで、参加者、講演者など関係者全員の検温を実施します。



##### C ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用依頼

- マスク着用を呼びかけるほか、入場・来場・退出のタイミングに応じた3密対策を実施します。
- 待機列が想定される場所においては、入場制限を設けるほか、フロアマーカの使用やスタッフによる誘導を行います。

##### D マスクの装着が難しい人への対応

- エアロゾルを拡げるリスクが高くなるので、特別な対策を行います。
- ・距離の確保
- ・フェイスシールド、アクリル板や透明ビニールカーテンによる遮蔽を検討
- ・別室への誘導
- ・一定数のマスクを準備



## IV 会期中の対策

### セッション会場・展示会場

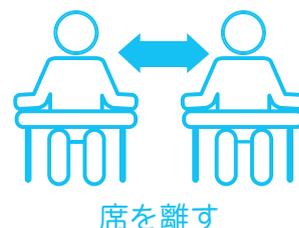
#### ①セッション（講演）会場

##### A. 参加定員の把握と密集の回避

- 参加人数を把握し、入場制限などの対策を講じます。また、中継会場の設置も検討します。
- 参加者の入れ替え時に入り乱れることがないように入退場口を区分けするなど動線を用意します。
- 機械換気によって換気を実施します。また、追加処置として休憩時間に入退場口を開放するとさらに換気効率がよくなります。
- 扉を開放する場合には、廊下やロビーなどは静粛な状態を維持するよう案内します。

##### B. 参加者（来場者）・講演者の感染対策

- マスクを装着しない場面では、講演者間、参加者間のソーシャルディスタンスを確保し、必要に応じてアクリル板を設置します。
- マイク・レシーバーなどの共有物は、少なくとも1日に1回拭くなどし、清潔を保ちます（使用ごとに消毒薬で拭く必要はありません）。
- 会場入口や通路、共有部に消毒液を設置し、手指消毒を推奨します。
- プログラム開始前にスクリーンを活用して、参加者に感染防止策などの周知・広報を行います。



##### C. 会場の設営

- 参加者（来場者）の椅子の距離は、マスクが着用できない場面において目安として1m程度空ける、もしくはアクリル板などを設置します。
- 固定席の場合は、密集にならない程度に座席を減らすよう検討します。
- マスクの着用をしない場合は、講演者間の距離は2m（最低1m）を確保します。また、講演者の周囲にアクリル板の設置をするなど検討します。
- 立ち見は、原則禁止にします。



#### ②展示会場

- 混雑状況を把握し、場合によっては、入場制限を実施します。
- 展示物や商談スペースに手指消毒薬を配置し、来場者に使用をうながすこと、また机など手が触れるところは少なくとも1日に1回程度の拭き掃除など清潔を保つよう出展者へ依頼します。消毒の徹底
- 資料の手渡しは構いませんが、カウンターなどに設置、もしくは資料を電子化するなどを出展者に依頼します。
- 参加者への飲食物の提供は極力回避します。



## IV 会期中の対策

### 展示会場・パーティ&レセプション会場 参考 JCMA ガイドラインⅢ2-5 [食事会場]

#### ①パーティ&レセプション会場

- 立食、着席式どちらの形式でも構いません。ただし、飲食時はマスクを外すため感染拡大のリスクが高くなりますので、特に取り組みが必要です。「[「外食産業の事業継続のためのガイドライン」](#)」等を参照してください。
- 参加定員に対して換気が不十分にならないような広さの会場を設定し、テーブルや椅子のレイアウトを調整します。  
(例) 着席式であればテーブル間の距離、着席人数/立食、着席式ともに距離が確保できない場合にはアクリル板の設置など
- BGMは大声での会話を誘発しないように音量を控えめにします。
- 食事中以外のマスクの着用厳守をアナウンスします。
- 共有スペースなど、飲食用に感染防止対策をとっているエリア以外の飲食を制限します。

#### 外食業の持続継続のためのガイドライン（農林水産省）

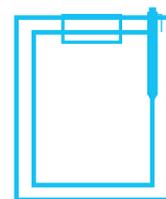
[https://www.maff.go.jp/j/saigai/n\\_coronavirus/pdf/gl\\_gaishoku.pdf](https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/gl_gaishoku.pdf)



## 運営スタッフと安全管理

### ①事前教育

運営スタッフには、自身の健康管理だけでなく、会場における感染防止対策に対する理解が必要です。会期中の指揮系統や行動指針を記したマニュアルを渡し、参加者からの問い合わせにも答えられるよう、事前の教育を実施します。

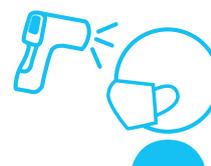


体調管理

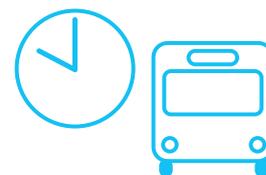
### ②運営スタッフの感染対策

スタッフには出展者やアルバイト、施工要員などの外部要員も含まれます。入れ替わることも多いため、各自の体調管理を徹底するとともに、有事の際には迅速な連絡・対応を行うことができる体制を構築します。

例) 毎朝の検温の義務付け/体調が悪い場合には自宅待機/運営スタッフ全員の連絡先をリスト化/欠員が出た場合の対応策を用意など



検温実施



時間差出勤

### ③開催施設への依頼

清掃作業員は、十分な感染対策を取ったうえ、ゴミを回収し、作業後は、必ず石鹸と流水で手洗いを実施するように依頼します。



石鹸で手洗い

会場において発熱などが確認された場合→18 ページ

## リストの保管・活用

会期後に感染の疑いのある参加者、運営関係者が発生した場合に備え、参加者や運営関係者に報告や情報発信ができるよう、参加者リスト・運営関係者リストなどを活用します。

- 個人情報は必要に応じて医療機関や保健所に提供できるよう、適切に保管します。
- 会期から1カ月程度経過した場合、個人情報の取扱い基準に沿って、適切に廃棄します。



参加者・運営関係者から感染の連絡があった場合→18 ページ

## 感染拡大防止対策についての検証

- 会場内での感染が判明した場合、原因を検証し、次回開催へ向けて改善策を検討します。
- 会場内での感染が発生しなかった場合、次回開催時には、実施した取り組みを基本としつつ、感染状況などを踏まえた対策を実施します。



## VI

# 様式 簡易チェックリスト（主催者向け）

本ガイドラインに基づいた安心・安全な MICE 開催において、主催者の皆様にご留意いただきたい項目をチェックリストにいたしましたので、ご活用ください。

<input checked="" type="checkbox"/> 会期前の対策		
<input type="checkbox"/>	感染状況と指針の確認	警戒レベルや指針などの最新情報を確認
<input type="checkbox"/>	役割分担・責任範囲を明確化	運営関係者内の役割分担・責任範囲を決定し、各役割の責任者を定める
<input type="checkbox"/>	感染拡大防止対策の方針を決定	中止や延期の判断基準、手順、期日などを決定など
<input type="checkbox"/>	感染リスク軽減対策を検討	会場選定と利用法、参加者の移動タイミングの分散化など
<input type="checkbox"/>	有事対応の準備	感染が疑われる参加者が出た場合のマニュアルの作成など
<input type="checkbox"/>	参加者対応の準備	事前のオンライン参加登録など
<input type="checkbox"/>	運営関係者への事前説明	感染防止対策や有事の際の対応について説明
<input type="checkbox"/>	情報発信	感染防止対策や具体的な依頼内容を発信
<input type="checkbox"/>	「感染防止安全計画」の提出	大規模なイベントは感染防止安全計画を提出
会期中の対策		
<input type="checkbox"/>	共有スペース	参加者の集中を回避し、感染拡大防止を依頼
<input type="checkbox"/>	受付・クローク	連絡先シートや健康チェックシートの提出を要請
<input type="checkbox"/>	セッション（講演）会場	換気・入退場口を分けするなど、3密回避・感染リスク軽減
<input type="checkbox"/>	展示会場	混雑状況を把握し、場合によっては入場制限を実施
<input type="checkbox"/>	パーティ・レセプション会場	3密を回避するレイアウト、飲食中以外のマスク着用厳守
<input type="checkbox"/>	運営スタッフの事前教育	行動指針を記したマニュアル作成
<input type="checkbox"/>	運営スタッフの感染対策	毎朝の検温や体調が悪い場合の自宅待機など
<input type="checkbox"/>	有事への備え	保健所・医療機関の確認とリストの保管
<input type="checkbox"/>	開催施設への依頼	ゴミ回収時の留意点を確認
会期後の対応		
<input type="checkbox"/>	リストの保管・活用	医療機関や保健所に提供できるように保管
<input type="checkbox"/>	感染の連絡があった場合	来場者・関係者へ情報発信できる体制を維持

## VI

# 様式 簡易チェックリスト（参加者向け）

安心・安全な MICE 開催に際しては、参加者の協力が必要不可欠です。参加いただく際の注意事項を確認シートにいたしましたので、主催者の皆様は本確認リストを参加者にご案内ください。

<input checked="" type="checkbox"/> 会期前		
<input type="checkbox"/>	情報確認	事前参加登録など、主催者から発信される感染症対策に関する情報をチェック。
<input type="checkbox"/>	移動	交通機関の時間をずらす、ICカードやキャッシュレス決済の利用 こまめな手洗い、消毒、交通機関でのマスク着用
<input type="checkbox"/>	健康管理	毎朝の検温、体調管理
会期中の対策		
<input type="checkbox"/>	マスク着用	飲食時以外は着用を徹底
<input type="checkbox"/>	3密の回避	ソーシャルディスタンス、会話の自粛
<input type="checkbox"/>	手洗い・消毒	こまめな実行
<input type="checkbox"/>	飲食	時間短縮、人数制限、認証店の利用など
<input type="checkbox"/>	健康管理	参加者自粛基準の順守・健康チェックシートの記入など
<input type="checkbox"/>	受付	事前参加登録、連絡先シートの提出など
会期後の対応		
<input type="checkbox"/>	移動	交通機関の時間をずらす、ICカードやキャッシュレス決済の利用 こまめな手洗い、消毒、マスク着用
<input type="checkbox"/>	主催者から連絡	濃厚接触者と思われる人へ、外出の自粛、健康観察を要請
<input type="checkbox"/>	体調不良	感染が疑われる場合は、外出の自粛、抗原検査キットでの検査を要請
<input type="checkbox"/>	情報共有	保健所（必要ならイベント主催者）に連絡

# 様式 連絡先シート（参加者向け）

有事の際には公的機関との情報共有が不可欠です。運営関係者や施設関係者と連携し、連絡先シートを事前送付もしくは受付などで参加者に記入いただいでください。

〇〇〇〇展示会ご参加の皆様へ

## 連絡先記入のお願い

新型コロナウイルスの感染者が発生した際などに、主催者から連絡する場合があります。また、保健所などの公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報共有を行う場合があります。速やかにご連絡可能な連絡先として、下記にご記入をお願いいたします。

来場日	年	月	日	来場時間	時	分頃
-----	---	---	---	------	---	----

フリガナ 氏 名
電話番号  (※連絡が付きやすい電話番号をご記入ください。)
E-mail  (※日常的に確認されるメールアドレスをご記入ください。)
所 属

**ご提出先：〇月〇日【会場名】（受付）にてご提出ください。**

なお、お預かりした個人情報は〇〇〇〇展示会事務局にて厳重に管理し、上記以外の目的には使用いたしません。本紙は会期終了から〇〇日（もしくは〇週間）経過後、適切に廃棄いたします。

〇〇〇〇展示会事務局 Tel：XX-XXXX-XXXX

## VII

# 感染が疑われる参加者が発生した場合の対応

## 会場において発熱などが確認された場合

- マスク・手袋・フェイスシールドなどを着用のうえ、距離をとって対応します。
- 速やかに隔離スペースに案内し、帰宅して医療機関や保健所に相談するように案内します。
- 常駐の医師・看護師がいる場合は、速やかに相談します。
- 会場内の隔離スペースを整備し、「入室禁止」の貼り紙を掲示します。
- 発熱などが確認された人が帰宅後に感染が判明した場合は、主催者に連絡するように依頼します。
- 会場到着後の行動と接触した人について聞き取ります。
- 参加者の個人情報については、必要に応じて保健所などに情報提供します。



## 会期後、複数の参加者から発症の報告があった場合

### ① 公的機関への情報提供

- 迅速に保健所などの公的機関に報告します。さらなる感染拡大を防ぐため、保健所などの公的機関によるヒアリングに協力し、必要な情報を共有します。

### ② 来場者への情報発信

- 保健所などの公的機関と相談し、感染者と濃厚接触した可能性のある参加者へ情報を発信し、健康観察、症状がある場合には抗原検査での検査等を案内します。
- 他の参加者への情報提供や主催者発表については、その必要性を保健所と協議したうえで実施します。



# VIII

## 横浜市及び神奈川県 関連情報一覧

### ◆一般社団法人日本コンベンション協会

「新型コロナウイルス感染症禍における MICE 開催のためのガイドライン」

[https://jp-cma.org/files/others/JA\\_Guidelines-on-Hosting-MICE-Events-in-the-COVID-19-Pandemic\\_ver\\_5E\\_JCMA.pdf](https://jp-cma.org/files/others/JA_Guidelines-on-Hosting-MICE-Events-in-the-COVID-19-Pandemic_ver_5E_JCMA.pdf)



### ◆一般社団法人日本展示会協会ガイドライン

「展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン改訂版」

[https://www.nittenkyo.ne.jp/shr/document/200821\\_guideline2.pdf](https://www.nittenkyo.ne.jp/shr/document/200821_guideline2.pdf)



### ◆横浜市

「新型コロナウイルス感染症対策について」

「業種別ガイドラインとチェックリスト」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/hokenjo/kansensyotaisaku.html>



### ◆新型コロナウイルス感染症に関する情報について（横浜市）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/koho/topics/covid-19/>



### ◆神奈川県イベントに係る感染防止対策について（神奈川県）

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/callcenter.html>



### ◆外食業の持続継続のためのガイドライン（農林水産省）

[https://www.maff.go.jp/j/saigai/n\\_coronavirus/pdf/gl\\_gaishoku.pdf](https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/gl_gaishoku.pdf)



### ◆飲食時の新マナー「マスク飲食」（神奈川県）

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/mask/index.html>



### ◆横浜市 新型コロナウイルス感染症コールセンター

045-550-5530

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/yobosesshu/kansensho/nc-ov-soudan.html>



# IX

## 横浜市内MICE関連事業者の感染症対策

横浜市内には「GBAC STAR™認証」を取得した施設が点在しております。国際水準を満たす市内施設で、安全・安心なMICEを開催ください。

GBAC STAR™認証とは

2020年5月に米国で誕生した感染対策制度で、専門家が考案した感染症予防に特化した認証プログラム。ホテル、レストラン、貸し会議室、展示会場、ショッピングセンター、スタジアム／アリーナ、遊園地、劇場、駅・空港、学校、病院などさまざまな施設が対象です。

### 国内MICE施設で初「GBAC STAR™認証」を取得 パシフィコ横浜

2021年4月、パシフィコ横浜は、国内のMICE施設として初となる「GBAC STAR™認証」を取得しました。「イノベーションが生まれ出される、人とひとの交流の場」を支え、希望に満ちた未来の実現に貢献する」という企業理念（Mission）のもと、その実現のため「常に防災意識を持って、お客さまに安全、安心な施設を提供する」ことを行動規範（Value）としています。この行動規範に基づいて、すべてのスタッフが感染症の流行や潜在的な接触に伴う感染リスクの管理に日々努めています。パシフィコ横浜では、来場者とスタッフの健康・安全を第一に考え、感染拡大防止対策を徹底し、MICEの誘致・開催を通じて、地域の発展に貢献することを目指してまいります。パシフィコ横浜の感染症予防対策への取り組みは動画でも紹介しています。

<https://www.pacifico.co.jp/visitor/tabid/690/Default.aspx>



### 安全第一で、常に安心を ハイアットリージェンシー横浜

全世界のハイアットが実施する衛生対策「グローバルケア&クリーン」は、「思いやりの心で相手の最高を導き出す」という企業理念を具現化した取り組みです。これまでに実践してきた安全・清潔のためのプロトコルをさらに進化させ、例えば、「GBAC STAR™認証」のための衛生教育プログラムを実施。また、トレーニングを受けた衛生・健康管理者（またはチーム）を配置し、各ホテルでの厳格なプロトコルの運用と従業員教育を徹底しています。さらに、医療だけでなく多分野の専門家と連携し、安全プロトコルの見直しと、ホテル滞在に伴うさまざまな状況への対応策の検討を重ねています。ハイアットでは、宿泊客・利用客はもちろん、スタッフも健康に過ごすことのできる安全な環境を目指しています。

<https://www.hyatt.com/ja-JP/hotel/japan/hyatt-regency-yokohama/hndry/policies>



### 国際衛生基準「GBAC STAR™認証」を取得 新横浜プリンスホテル

新横浜プリンスホテルは2022年7月、感染症予防対策の国際衛生基準を満たした施設であることを証明する「GBAC STAR™認証」を取得いたしました。お客さまの安全を確保するとともに、「世界にたったひとつの旅」をほほえみで満たすために、Withコロナの環境における新しいサービスの提案を行ってまいります。

プリンスホテルズ & リゾーツでは、これまで独自の衛生・消毒基準「Prince Safety Commitment（プリンス セーフティ コミットメント）」を策定・導入し、お客さまが、安全で清潔な空間で過ごせるように、徹底した感染症予防対策をとってまいりました。そこでは、「清掃・消毒の推進、換気の徹底」「飛沫防止対策の徹底」「お客さまの健康確認」「従業員の衛生体制の強化」などを掲げています。

<https://www.princehotels.co.jp/shinyokohama/informations/gbaq/>



# YOKOHAMA JAPAN'S FIRST PORT OF CALL

お問い合わせ

---

横浜市文化観光局 MICE 振興課

TEL:045-671-4234

E-mail:bk-mice@city.yokohama.jp



公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー  
YOKOHAMA CONVENTION&VISITORS BUREAU

TEL:045-221-2111

E-mail:mice@ycvb.or.jp

<https://business.yokohamajapan.com/mice/ja/>